

平成26年度 区政懇談会での発言・回答

中野山小学校区コミュニティ協議会

日時：平成26年5月25日（日）

10:00～11:30

会場：シルバーピア石山



発言：コミ協の活動を充実するために**事務所**が必要であるが、中野山小学校区にある市の施設の中で、皆様に一番知名度のあるシルバーピア石山に事務所があると一番よいのではないかとお願いしてきた。現在は会長宅のままである。

コミ協としては、市の施設の中に事務所を設置したいというのが強い要望である。

回答：シルバーピア石山内に事務所を設置するのが適当と考えるが、管理運営委員会との協議が整うことが必要であり、それまでの間は、補助制度を活用して民間施設の借り上げ等も考えてもらえればと思っている。

発言：当地区は、子どもと子育て世代の多い地区である。加えて、「ふれあいスクール」や「ひまわりクラブ」の利用率が高い地域である。従って、**子どもの居場所**をどのように確保するかは重要な課題である。

石山地区自治センター又はその敷地内に「施設」をつくれぬか。

回答：これから人口が減っていくと言われている中で、今ある施設の機能を維持しながら、施設数としては集約していくのが全国的な流れである。そうした中で、単独機能の施設を新規建設するのは非常に困難だ。

地域の方が協力していただけるのであれば、ふれあいスクールの回数を増やすということを検討していただければありがたい。

発言：**中野山小学校**という一番大きな施設があるので、その**活用法**を考えていきたい。しかし、学校は原則、先生がいる時間帯までしか利用できず、また何か行うときには必ず学校に許可をとらなければならない制約があるのが現状である。

回答：学校の活用方法は、これから施設をある程度機能を集約していく中では大きな検討課題であり、市として考えていきたい。また4月から区に教育支援センターができたので、学校との関わりを区としてはさらに大きくしていきたい。

発言：**同報無線**のような、この音が鳴ったら「すぐに避難」と分かるものを整備してほしい。

回答：皆様への避難情報をお知らせする方法は、防災無線のほか防災メールやテレビのデータ放送、市のホームページ等から同時に情報を流せるシステムを活用している。

またコミ協の会長、自治会長、民生委員には緊急告知FMラジオを配布しており、情報が瞬時に伝わるようになっている。

発言：**新潟空港**に関し、一地方空港ではなく国際空港なのだが、午後8時以降になると空港内のお店が閉まってしまい、遅い便で到着した方など食事もままならない。

回答：3月に市長とコミ協の代表者とが懇談したときにも話が出ていたが、我々もよい空港になってほしいと思っている。国や県などに伝えていきたい。

発言：コミ協への**事務局費**の増額をお願いしたい。若い人たちが積極的に活動に参画するには、ボランティアではなく、いくらかの対価が必要だ。

回答：現在、市として地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会を設け、支援策を検討中である。区で行ったワークショップでも活動資金や人材についての意見が多く出ていた。来年度から、具体的な支援策を実行していく。

発言：**団塊の世代**が大量に退職している。そういう人たちの意識をいかにコミ協に向け、**活動に参画**してもらうかがこれからの問題になってくる。

回答：リタイアされて時間のある方など本当に元気な高齢者の方をいかに活用していくかは、今後私たちにとっても大きな課題だと思っている。

発言：携帯電話を持っていない小学生やお年寄りの方などにどのように**災害情報を伝達**するのか。

回答：今後の防災施策の中で検討させていただく。

→市民に広く情報伝達できるように、携帯電話以外の伝達手段（テレビ、ラジオ、防災無線、広報車など）も活用し、情報伝達の多重化に努めていく。

発言：市や区として**空き家**をどういう方向性に持っていくのか、今後どういう解決をしているのかをお聞きしたい。

回答：将来の条例制定に向け、庁内に検討委員会を作り、適正管理と有効活用という観点で検討を行っている。